

研究主題

「未来へと たくましく生きる体づくりができる子どもの育成をめざして」
～友だちとのかかわり合いを生かした学習の流れの工夫を通して～

1 研究主題について

体育科においては、「心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力」の育成を重視している。また、「健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。」と述べられている。心と体を一体としてとらえた指導が児童の心身ともに健全な成長を促すことにつながるといえる。さらに、運動の楽しさや喜びを味わえるよう基礎的な運動の技能や知識を確実に身に付けるとともに、それらを活用して、自らの運動の課題を解決するなどの学習をバランスよく行うことの重要性が指摘されている。

そこで、体育科において、児童のかかわり合いを通してわかる・できることの喜びを感じ合い、主体的に考える学び方を身に付ける学習の流れを工夫して、たくましく生きる体づくりができる力を育てていきたいと考えた。その基礎づくりをめざして上記の研究主題を設定し、郡内各小学校で実践を行った。

2 研究の実際

西伯郡では、子どもたちが授業を通して「できた」と感じ、体を動かすことが楽しい、運動が好きだと思える子どもを育てることをねらいとし、これまで取り組んできた研究テーマ「できたよろこびを味わわせる体育学習 ～『できた感』のもてる体づくり運動～」について今年度も引き続き取り組んでいる。特に、「できた感」をもたせるための「子どもの興味を引き出す用具の工夫」，「友だちとのかかわり方」，「自分の姿を見つめ直す場面」の3つの視点を具体的にどのように学習過程に仕組んでいくのかを重点に各学校で授業実践を行った。

10月には、授業研究会を実施し、授業を通してこれまでの研究についてふり返ったり、各学校の実践を出し合い情報交換を行ったりすることで研究を深めた。

3 具体的な取り組み

5月17日	理事会	研究の組織編成と推進計画の検討，事業計画の検討
8月 1日	実技研修会	器械運動の実技指導
	講師	鳥取市立賀露小学校 夏目 貴史教諭
8月9日，10日	夏季一泊研修会参加	
10月18日	授業研究会	中山小学校 第2学年
		「器械・器具を使つての運動遊び」 授業者 桑原 知也教諭
10月26日	中・四国小学校体育研究大会参加（高知大会）	
12月26日	スキー指導者講習会	
2月28日	事業反省会	本年度の反省と25年度の研究の方向性について

4 来年度に向けて

平成26年度は中・四国小学校体育研究大会が本県で行われるので、今年度は、主に大会に向けて研究体制づくりを進めてきた。来年度は、分科会の発表領域を中心に、各校での実践や授業研究会を通して、さらに研究を深めていきたい。